

2021.11.8 Blog

収穫の主に祈る



収穫は多いが、働き手が少ない。

だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。

マタイの福音書 9章 37～38節

2015年のデータで、クリスチャン人口は世界人口の31%に当たる23億人で、イスラム教徒18億人、ヒンズー教徒11億人と比べ、さらに無宗教の12億人をも上回り、依然多数派をしめています。

※米国の世論調査機関「ピュー研究所」発表

全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。

マルコの福音書 16章 15～16節

イエス・キリストの十字架の購い、復活、クリスチャンへの聖霊降臨以降、大宣教時代に入り2000年が過ぎ、多くのクリスチャンの命がけの宣教のおかげで、エルサレムから見れば地の果てである日本にまで福音が述べ伝えられました。

しかし大きなリバイバルが起こった韓国や、依然弾圧を受けながらもクリスチャン人口が飛躍的に増えていると言われている中国と比べ、日本のクリスチャン人口は1%に満たない状態で留まり続けています。

それどころか、教会の数は減り、牧師や神学生の数も減っているという危機的状況にあります。

アメリカやイギリスなど英語圏の宣教師の影響を受けている日本のプロテスタントでは、牧師になるには英語が話せることが重要でした。

高学歴な人が牧師になるというイメージがありました。20年前なら私のような学歴のないものが牧師を目指すことは考えにくいことだったでしょう。

しかし今は神学校によってはハードルが下がり、さまざまな経歴をもつ牧師が生まれてきています。

ですから今はチャンスであると言えるでしょう。神様からの召しを受けつつも一歩踏み出せない方がいらっしゃるなら、どうぞその一歩を踏み出して、日本の危機的状況を救う働き手の一員となって頂きたいと思います。